



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の障害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

●本製品をベンチや机などに利用する場合は、必ず受け材などで補強してください。脱落の原因になります。(図-1)

■取付け上のお願い

●本製品は、洗面・キッチンカウンターなど、特に耐久性を必要とする部位には、使用できません。  
化粧面の傷付き・ハガレの原因となります。

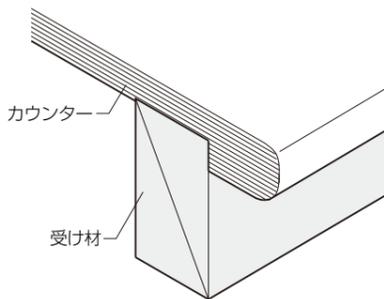
●カウンターの切断にはチップソー、又は樹脂板用手のこをご使用ください。通常ののこ刃をご使用になると、刃がいたみます。

●加工の際は、化粧面のひび割れ・欠けに十分注意してください。又、たばこの火などを近づけないでください。

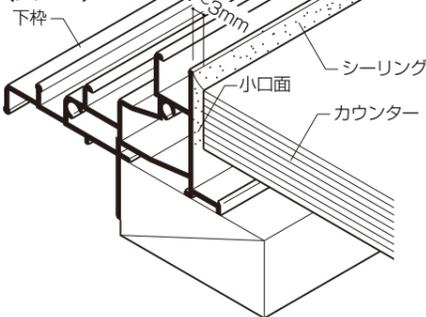
●結露の発生しやすい場所のサッシに、小口面が接する場合があります。その場合は、必ず小口面に撥水剤を塗布するか、サッシ下枠との間を2~3mmあけてシーリングしてください。(市販の変成シリコンをご使用ください。)(図-2)

※コーナー加工の際、カウンター接合部にすき間ができる場合は、別売りのパッチャルペンシルで埋めてください。

(図-1) (補強例)



(図-2)



■梱包内容

ポストフォーム型	
カウンター	小口材
	〈幅1800用〉 右・左用 各2枚 〈幅3000用〉 右・左用 各3枚 
角型	
カウンター	小口材
	〈幅1800用〉 右・左用 各2枚 〈幅3000用〉 右・左用 各3枚 

■加工の仕方

■丸のこ使用時のご注意

※丸のこを使用する場合は、以下の準備をしてから、加工手順に従ってください。

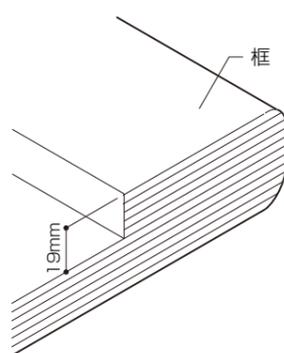
※必ず、チップソーをご使用ください。

① 框の段差と同じ厚さの当て板を用意します。段差の寸法は(図-3)を参照してください。

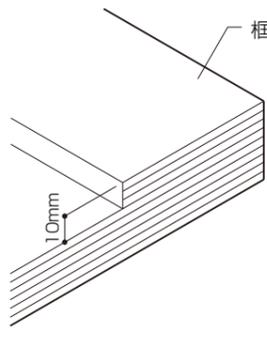
② カウンターを裏返しにし、当て板を当てます。(図-4)

(図-3)

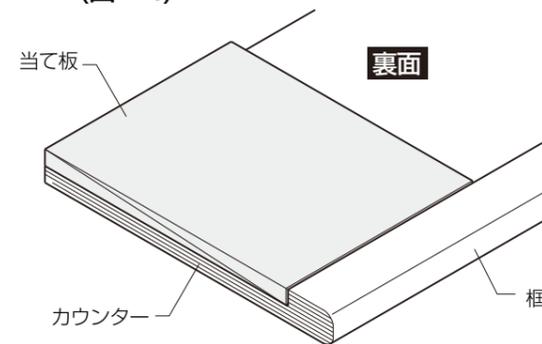
【ポストフォーム型】



【角型】



(図-4)



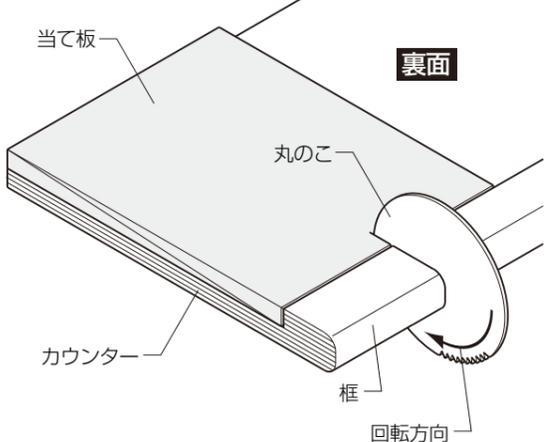
■加工手順

① 框側から、カウンターを切断します。(図-5)  
※丸のこ使用の場合は、刃先を化粧面から芯材に向けて切断してください。

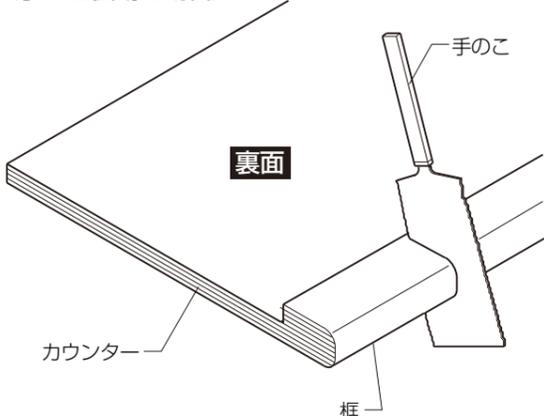
※手のこは、必ず樹脂板用をご使用ください。

(図-5)

【丸のこ使用の場合】



【手のこ使用の場合】

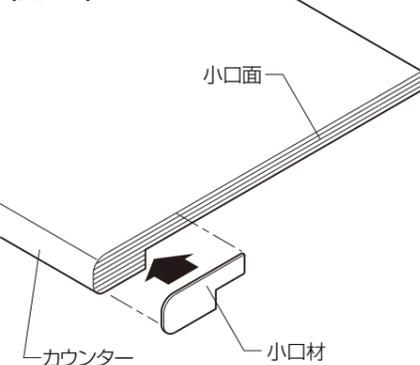


② 小口張りをする場合は、小口面と小口材の両方に接着剤を付けて張ってください。

※市販のゴム系接着剤をご使用ください。(図-6)

※小口材の長さが足りない場合には、別売りの横手貼テープをご使用ください。

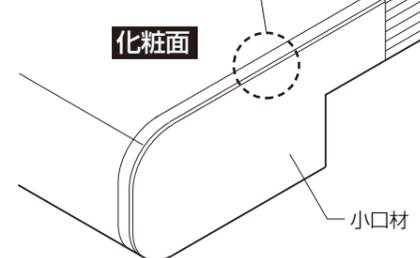
(図-6)



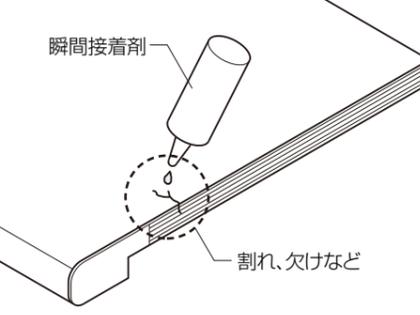
③ やすりやサンドペーパーなどで、小口張り面を軽く面取りします。(図-7) 面取りしても小さな割れや欠けが残る場合は、瞬間接着剤などで埋めてください。(図-8)

④ 面取り部が目立つ場合は、別売りのタッチアップマーカーで着色します。

(図-7)



(図-8)



【お願い】

※(図-9)の点線部のように、角のできる切り方をする場合は、先に角の部分にφ6~12mmの穴を開けてから切断してください。穴を開けずに切断すると、化粧面が割れるおそれがあります。

(図-9)

